



大学入試センター試験まであと100日！

現役受験生400人に聞く！

大学受験勉強に関する調査

“2人に1人の受験生は自分の受験勉強法に不満あり”

- 不満の三大原因は「学力が身に付かない」「モチベーションが維持できない」「勉強方法が自分に合っていないかわからない」
- 不満を持っている6人に1人は具体的な改善方法がわからない

“理想どおりに受験勉強ができないのは平日より休日！”

- 理想と現実の勉強時間ギャップ、平日は2時間、休日は3時間半
- ギャップの三大原因は「パソコン」「携帯電話」「テレビ」

目次

- 2人に1人が、自分の受験勉強の方法は不満足または充実していないと感じている … P.3
 - 「不満足または充実していない」(43.9%) 「やや不満足またはあまり充実していない」(9.2%)
計 53.1%
- 不満足を感じている2人に1人の受験生は、勉強方法そのものに不満や不安を感じている … P.3
 - 不満足だと思う理由は「学力が身に付かない」(80.4%) 「モチベーションが維持できない」(74.9%) 「勉強方法が自分に合っていないかわからない」(44.7%)
- 不満を持っている6人に1人は、具体的な改善方法がわからない … P.4
- 自主勉強時間には、理想と現実のギャップがある「平日」(90.0%) 「休日」(91.5%) … P.5
 - 理想は「平日4.42時間(平均)」「休日7.47時間(平均)」であるが、
現実「平日2.41時間(平均)」「休日3.91時間(平均)」
- ギャップを生む理由は「パソコン」(60.7%) 「テレビ」(41.8%) 「携帯電話」(40.8%) … P.6

調査概要

- 【調査期間】 2009年10月2日(金)～2009年10月3日(土)
【調査対象】 2010年度に、4年制及び6年制大学への進学を希望する高校3年生(受験生) 412名
【標本構成】 有効回収サンプル数412名の標本構成は男性189名、女性223名
【調査方法】 インターネットリサーチ(協力:株式会社マクロミル)
アンケートモニターから対象者を抽出、インターネット上のアンケートに回答

調査の詳細レポートについて及び本資料に関するお問い合わせ先

合同会社 道塾 PRチーム 担当 : 吉田 俊

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田1-23-11 KSKビル2階

TEL : 03-6278-9825 E-Mail : pr@dojuku.com

1. 受験勉強の方法について

2人に1人の受験生は自分の受験勉強法に不満あり!

- ・不満の三大原因は「学力が身に付かない」「モチベーションが維持できない」
「勉強方法が自分に合っているかわからない」
- ・しかし、不満を持っている6人に1人は具体的な改善方法がわからない

受験生の2人に1人が、自分の受験勉強の方法について不満足を感じている

人生の大きな節目ともいえる大学受験を控え、日々取り組んでいる勉強の方法に対し、受験生はどのような思いを抱いているのでしょうか。現役受験生に自分の受験勉強の方法について聞いたところ、53.1%の受験生が(やや)不満足および(やや)充実していないと回答する結果となりました。

【図1】

Q1 あなたは、現在の受験勉強の方法について、満足または充実していますか。

(単一回答)

	回答数	%
1. 満足または充実している	38	9.2
2. やや満足またはやや充実している	155	37.6
3. やや不満足またはあまり充実していない	181	43.9
4. 不満足または充実していない	38	9.2
全体	412	100.0

不満の三大原因は、結果が出ないことへの焦り、モチベーション管理、勉強方法の知識不足

次に不満足を感じている受験生を対象に、その理由について聞いたところ、「学力が身に付かない」(80.4%)「モチベーションが維持できない」(74.9%)「勉強方法が自分に合っているかわからない」(44.7%)という回答が上位に挙げられました。受験生はなかなか結果が出ないことへの焦りやモチベーション管理に加え、勉強方法がわからないという根本的な問題をも抱えているようです。

【図2】

Q2 なぜ、現在の勉強方法に【Q1の選択内容】と思いますか。
あてはまるものを以下の中からすべてお選びください。

〈複数回答〉

	回答数	%
1. なかなか身につけていないと感じるから	176	80.4
2. 費用が多くかかっているから	36	16.4
3. 志望大学に関する情報が不足しているから	34	15.5
4. 勉強しやすい環境がないから	78	35.6
5. 勉強方法が自分に合っているかわからないから	98	44.7
6. モチベーションが維持できないから	164	74.9
7. その他【 】 コメント表示 (7)	7	3.2
全体	219	100.0

不満を持っている6人に1人は、具体的な改善方法がわからない

また、それらを解消するために具体的に行っていることに関して尋ねたところ、「とにかくがんばる」「とりあえず机に向かう」などの抽象的な回答が多く寄せられました。また、自分の受験勉強の方法について不満足を自覚しているにも関わらず、具体的に何をしたら全くわからないという受験生が17.5%にも上ることも明らかになりました。勉強方法に関する不満足や不安は、自分自身で解消するのが特に難しいものであり、受験生は日々目に見えない不安を抱えているようです。

【図3】

Q3 現在の勉強方法に(やや)不満足または(あまり)充実していないことを改善するために、
あなたがやっていること/今後行おうとしていることを具体的にお知らせください。

〈自由回答〉

※ 回答一覧をご希望の方は弊社までお問い合わせください。

2. 勉強時間について

理想どおりに受験勉強ができないのは平日より休日！

- ・理想と現実の勉強時間ギャップ、平日は2時間、休日は3時間半
- ・ギャップの三大原因は「パソコン」「テレビ」「携帯電話」

理想と現実ギャップ、平日は2時間、休日は3時間半も勉強時間が足りない！

平日と休日とに分け、現役受験生の理想の勉強時間と現実の勉強時間を聞きました。回答結果から、平日では90.0%、休日では91.5%と、大半の受験生が理想と現実の勉強時間にギャップを抱えていることが明らかになりました。またそのギャップは平日で2.0時間、休日では3.6時間存在し、休日のほうが平日よりも理想と現実の勉強時間のギャップは広がっています。

【図4】

あなたの、学校(塾・予備校)外での1日の勉強時間について、理想の勉強時間と、実際の勉強時間をそれぞれお答えください。

Q4

※1時間未満の方は、「1」、していない方は「0」とお答えください。

※平日と休日それぞれの1日の平均勉強時間をお答えください。

※学校の授業・学習塾・予備校での勉強を除く、自主的な勉強時間をお答えください。

(自由回答)

	平日	休日
理想の勉強時間(平均)	4.42 時間	7.46 時間
現実の勉強時間(平均)	2.41 時間	3.91 時間
理想と現実の勉強時間にギャップを持つ受験生の比率	90.0%	91.5%
理想と現実の勉強時間のギャップ(平均)	2.01 時間	3.57 時間

※ 回答一覧をご希望の方は弊社までお問い合わせください。

ギャップを生み出す原因は「パソコン」「テレビ」「携帯電話」

また、理想と現実の勉強時間にギャップが出来ている原因は、「パソコン」「テレビ」「携帯電話」といった身の回りの便利なものに時間を取られているという結果になりました。外的な原因（授業や部活、友人からの誘い）というよりも、受験生自身の意思の弱さがギャップを生みだしてしまっているようです。

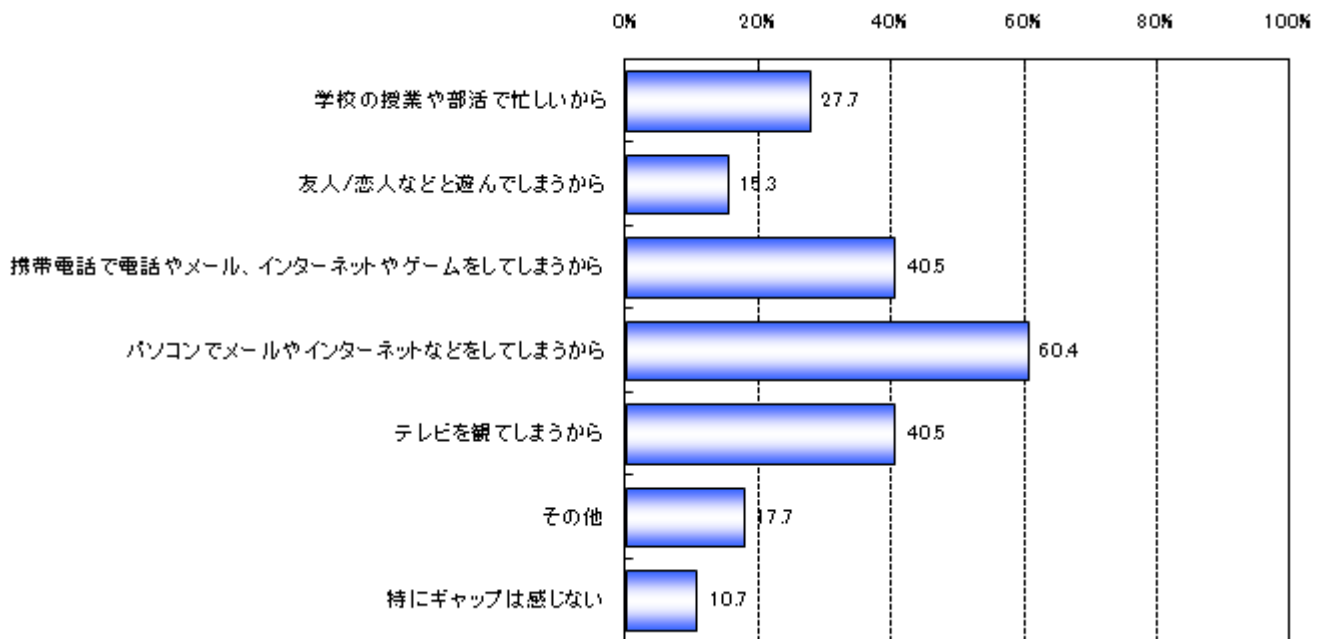
【図 5】

Q5 あなたは、平日と休日の理想の勉強時間と実際の勉強時間について、ギャップを感じていますか。感じている方は、そのギャップを生み出す理由としてあてはまるものをそれぞれお選びください。（いくつでも）

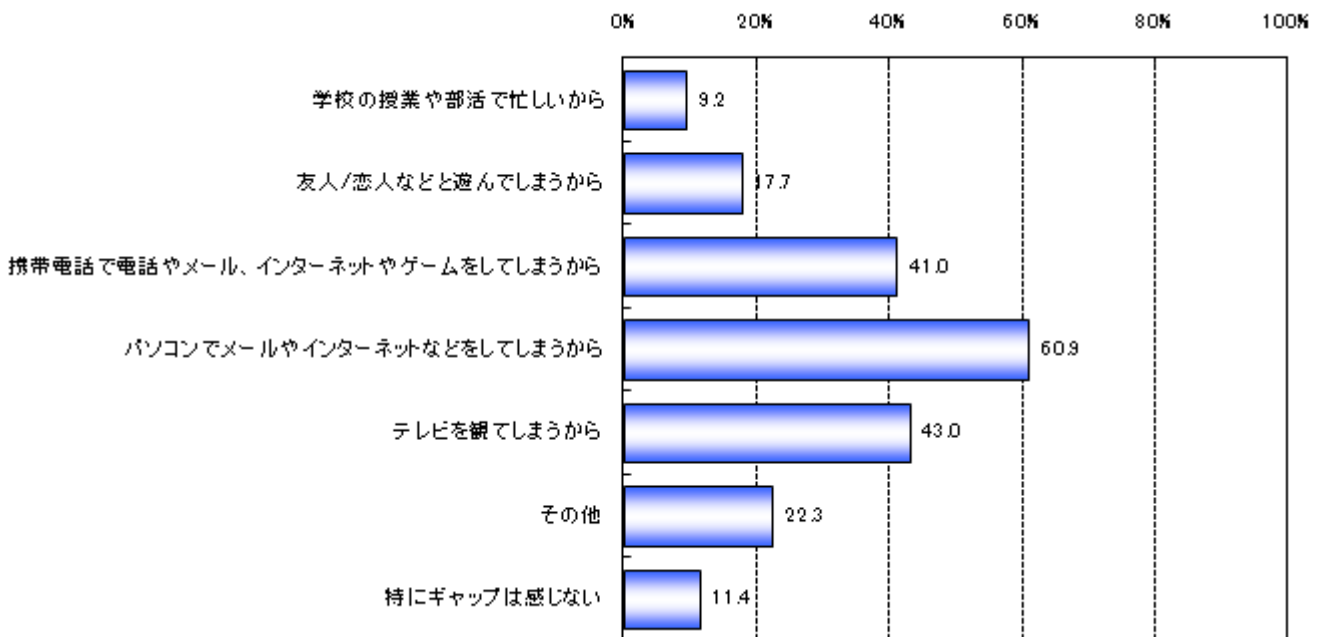
（マトリクス・複数回答）

	全体	1 学校の授業や部活で忙しいから	2 友人／恋人などと遊んでしまうから	3 携帯電話で電話やメール、インターネットやゲームをしてしまうから	4 パソコンでメールやインターネットなどをしているから	5 テレビを観てしまうから	6 その他	7 特にギャップは感じない
回答数 %								
1. 平日	412 100.0	114 27.7	63 15.3	167 40.5	249 60.4	167 40.5	73 17.7	44 10.7
2. 休日	412 100.0	38 9.2	73 17.7	169 41.0	251 60.9	177 43.0	92 22.3	47 11.4

【図 6】 平日におけるギャップを生み出す理由



【図 7】 休日におけるギャップを生み出す理由



調査の詳細レポートについて及び本資料に関するお問い合わせ先

合同会社 道塾 PR チーム 担当：吉田 俊

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-23-11 KSK ビル 2 階

TEL : 03-6278-9825 E-mail : pr@dojuku.com